

市長・教育委員長の 施政方針演述に 対する質問 **Q&A** 【抜粋】

【市長に対する質問】



演述する小沢昌記市長

質問 農地の出し手と受け手のマッチングをする農地中間管理機構が設置される。中山間地の農地は受け手の見込みがなく耕作放棄地が増え、地域に混乱が起きるのでは。

答弁 農協や農業委員会等とともに、耕作放棄地が増えないよう対策を講じる。

質問 ーLCをどうまちづくりを生かすのか。

答弁 空き家をより流動化させるなど各施策を打ち出し、居住するのに便利で快適であることを発

信できれば強みになる。

質問 協働のまちづくりの到達点とそれに対してどういう問題意識をもっているか。特定の人だけが忙しいのではないのか。

答弁 到達点はまだまだであり、これまでのまちづくりの意識転換をする。みんなのできる範囲で広く力を発揮していただく。市主導ではなく、市が市民の活動を支援していく。

質問 住む人がいなくなったら街がなくなる。子育て環境を良くすれば、若い人は増える。具体的政策はないのか。

答弁 新しい施策は一度始めたなら継続すべきで、効果の見極めは難しい。現実には今の財政力では支えられない。

質問 企業誘致において、

県内トップクラスの優遇制度の内容とその効果は。

答弁 企業立地投資や空き工場の再利用、工場の増設に補助金を出している。2月には江刺中核工業団地が完売した。今年、市内で8社誘致し、82名の雇用を確保した。



(株)アイリスフーズとの工場立地調印式(5/30)

質問 行財政改革の300項目を進める具体化の手立ては。

答弁 今、行程表を作成中。8月を目途に公表したい。

質問 多言語情報提供の

答弁 国際化推進員を配

置し、外国人研究者とのネットワーク構築と彼らのニーズを把握する。市のILCホームページの英語版を作成し、発信力を強める。

質問 財政健全化の指標の目標はどうか。

答弁 実質公債費比率、将来負担比率とも改善しているが、たゆまぬ努力が必要である。

質問 汚染牧草稲わら前処理施設の設置が遅れているが。

答弁 江刺区に今後設置する前処理施設を秋から運用し、本焼却に取り掛かる。同施設での前処理業務終了後、建屋などを胆沢区に移設し、引き続き処理を進める予定である。

質問 市政課題が多く、副市長の体制を早めに整えるべきでは。

答弁 選挙で掲げた公約を実行し、施政方針に沿った市政を運営しなければならぬ。これを強